

H23. 第三回基礎学力テスト

1.

$$(1) \quad (-6) - 2 = -8$$

$$(2) \quad 3(2x + y) - (x - 3y) = 6x + 2y - x + 3y = 5x + 5y$$

$$(3) \quad \begin{cases} 5x - 2y = 1 \\ y = 5 - 3x \end{cases}$$

$$5x - 2(5 - 3x) = 1$$

$$5x - 10 + 6x = 1$$

$$11x = 11$$

$$x = 1 \quad y = 5 - 3 = 2 \quad (x, y) = (1, 2)$$

$$(3) \quad \begin{cases} 5x - 2y = 1 \\ y = 5 - 3x \end{cases}$$

$$5x - 2(5 - 3x) = 1$$

$$5x - 10 + 6x = 1$$

$$11x = 11$$

$$x = 1 \quad y = 5 - 3 = 2 \quad (x, y) = (1, 2)$$

$$(4) \text{ 等式 } m = \frac{6a + 2b}{5} \text{ を } b \text{ について解くと } 5m = 6a + 2b \quad 2b = 5m - 6a$$

$$b = \frac{5m - 6a}{2}$$

$$(5) \quad x = 2\sqrt{3} + 1 \quad y = 2\sqrt{3} - 1 \text{ のとき、 } x^2 - y^2$$

$$= (x + y)(x - y) = 4\sqrt{3} \times 2 = 8\sqrt{3}$$

$$(6) \quad y \text{ は } x \text{ に反比例し } x = 2 \text{ のとき } y = 8 \text{ である。}$$

この関数について $1 \leq x \leq 10$ のとき y の変域を求めなさい。

$$y = \frac{a}{x} \text{ に代入して } 8 = \frac{a}{2} \quad a = 16$$

$$\text{よって } y = \frac{16}{x} \quad x = 1 \text{ のとき } y = 16$$

$$x = 10 \text{ のとき } y = \frac{16}{10} = \frac{8}{5}$$

$$\text{よって } \frac{8}{5} \leq y \leq 16$$

(7) ア の体積は $\pi \times 3^2 \times 6 = 54\pi$

イ の体積は $\frac{4}{3}\pi \times 3^3 = 36\pi$

$$54\pi : 36\pi = 6 : 4 = 3 : 2$$

(8) 底角は等しいので $\angle ACB = \frac{180 - 48}{2} = 66^\circ$

一つの弧に対する円周角は等しいので $\angle ADB = 66^\circ$

(9) 当たりくじを 1, 2 はずれくじを 3, 4, 5 とする。

同時に二本ひくひき方は

$$1 - 2 \quad 1 - 3 \quad 1 - 4 \quad 1 - 5$$

$$2 - 3 \quad 2 - 4 \quad 2 - 5$$

$$3 - 4 \quad 3 - 5$$

$$4 - 5$$

の 10 通りである。

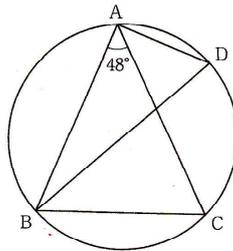
1 本が当たりで 1 本が外れであるのは 6 通り

よって確率は $\frac{6}{10} = \frac{3}{5}$

- (7) 下の図の、立体⑦は底面の半径が3 cm、高さが6 cmの円柱で、立体⑧は半径が3 cmの球である。立体⑦と立体⑧の体積の比を最も簡単な整数の比で表しなさい。ただし、円周率は π とする。

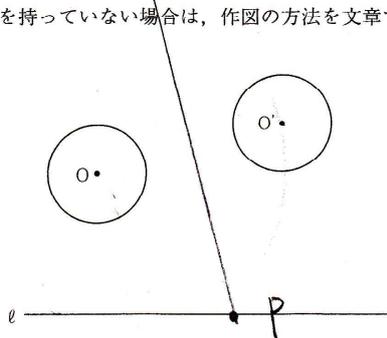


- (8) 下の図のように、 $AB = AC$ の二等辺三角形 ABC の頂点が円周上にあり、点 D は \widehat{ACB} 上の点である。 $\angle BAC = 48^\circ$ であるとき、 $\angle ADB$ の大きさを求めなさい。



- (9) あたり2本、はずれ3本でできている5本のくじがある。このくじを同時に2本ひくとき、1本があたりで1本がはずれである確率を求めなさい。

- (10) 下の図の円 O' は、円 O を直線 ℓ 上にある点 P を回転の中心として回転移動させたものである。点 P を作図しなさい。ただし、作図に使った線は消さずに残しておくこと。また、定規、コンパスを持っていない場合は、作図の方法を文章で書きなさい。



2. A中学校の生徒会では、紙パックを集める活動に取り組んでいる。紙パックは、6枚で重さが200gとなり、トイレットペーパー1個にリサイクルされる。生徒会ではトイレットペーパー600個分の紙パックを集めることを目標にして全生徒に呼びかけたが、集まった紙パックの重さは85kgであった。目標としていた量に達していなかったため、次のようなポスターを作成し呼びかけることとした。

皆さんの協力により

トイレットペーパー (①) 個分の紙パックが集まりました。

全校生と350人の皆さんが一人につき、少なくとも

あと、(②) 枚の紙パックを持ってきてくれると目標が達成できます。

生徒の皆さん、ご協力をよろしくお願いします。

$$1) \quad 85 \text{ kg} = 85000 \text{ g} = 200 \text{ g} \times 425$$

425個分

2) ②にあてはまる数を x とすると

$$350x \div 6 \times 200 + 8500 = 600 \times 200$$

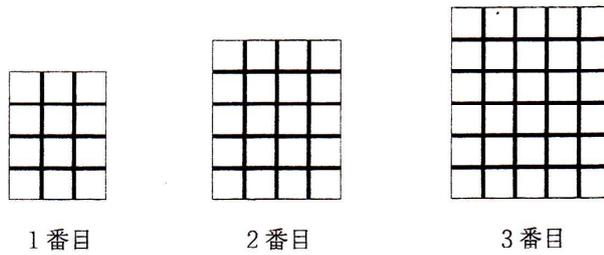
$$\frac{350x \times 200}{6} + 85000 = 120000$$

$$\frac{70000x}{6} = 35000$$

$$\frac{70x}{6} = 35 \qquad \frac{35}{3}x = 35 \qquad x = 3$$

3. 下の図の、1番目、2番目、3番目・・・のように、同じ大きさの正方形を規則的に並べて図形を作った。それぞれの図形において、太線は隣り合う正方形との共通な辺を表している。また、下の表は、それぞれの図形について並べた正方形の個数を調べたものである。

図



表

	1番目	2番目	3番目	...	6番目	...
2辺が太線の正方形の個数(個)	4	4	4	...	①	...
3辺が太線の正方形の個数(個)	6	10	14	...	②	...
4辺が太線の正方形の個数(個)	2	6	12	...	③	...

(1) 表の①、②、③にあてはまる数を答えなさい。

① 4

② 26

③ 42

(2) n番目の図形において、3辺が太線で表されている正方形の個数は何個か

$$6 + 4(n - 1) = 4n + 2$$

(3) n番目の図形において、4辺が太線で表されている正方形の個数は何個か

$$n(n + 1) = n^2 + n$$

すべての正方形の個数が240のとき

$$4 + 4n + 2 + n^2 + n = 240$$

$$n^2 + 5n - 234 = 0$$

$$(n + 18)(n - 13) = 0$$

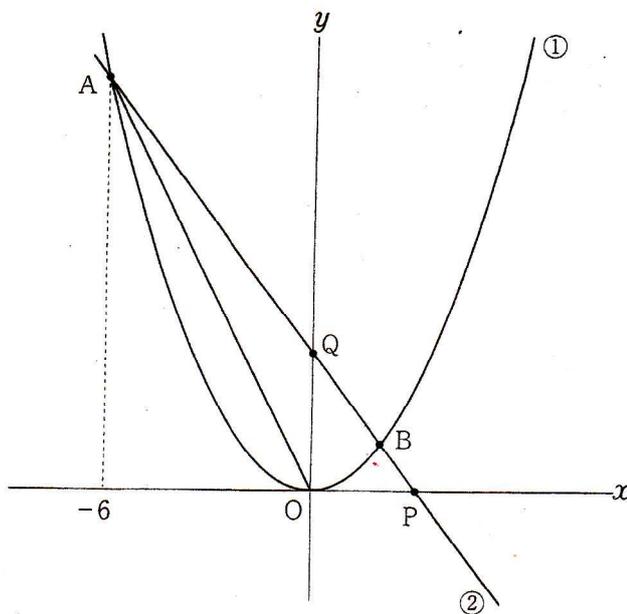
$$n = 13$$

$$13^2 + 13 = 169 + 13 = 182$$

182個

4.

下の図のように関数 $y = \frac{1}{3}x^2$ のグラフ・・・①と直線②があります。点A, Bは①と②の交点で点P, Qは直線②とx軸、y軸との交点である。また、点Aのx座標は-6, 点Bのx座標は正の数で、 $AQ : QB = 3 : 1$ となるようにとった点である。



(1) 関数 $y = \frac{1}{3}x^2$ について x の値が 1 から 5 まで変化するときの変化の割合を

求めなさい。

$$x = 1 \text{ のとき } y = \frac{1}{3} \times 1^2 = \frac{1}{3}$$

$$x = 5 \text{ のとき } y = \frac{1}{3} \times 5^2 = \frac{25}{3}$$

$$\frac{25}{3} - \frac{1}{3} = \frac{24}{3} = 8 \quad 8 \div 4 = 2$$

(2) 点 B の座標について

AQ : QB = 3 : 1 なので

$$B \left(2, \frac{1}{3} \times 2^2 \right) = \left(2, \frac{4}{3} \right)$$

(3) 直線②の式について

$$A \left(-6, \frac{1}{3} \times (-6)^2 \right) = (-6, 12)$$

$$\frac{4}{3} = 2a + b$$

$$12 = -6a + b$$

$$4 = 6a + 3b$$

$$12 = 4b \quad b = 3 \quad -6a = 8 \quad a = -\frac{4}{3}$$

$$\text{よって } y = -\frac{4}{3}x + 4$$

- 4) x 軸上に x 座標が負の数である点 R をとり $\triangle AOP$ と $\triangle BPR$ の面積が等しくなる
とき、点 R の x 座標について

まず点 P の座標は $0 = -\frac{4}{3}x + 4$

$$\frac{4}{3}x = 4 \quad x = 3 \quad \text{よって } P(3, 0)$$

$$\triangle AOP = \frac{3 \times 12}{2} = 18$$

R(x, 0) とおくと

$$\triangle BPR = \frac{1}{2} \times (3 - x) \times \frac{4}{3} = 18$$

$$\frac{4}{6}(3 - x) = 18$$

$$4(3 - x) = 108$$

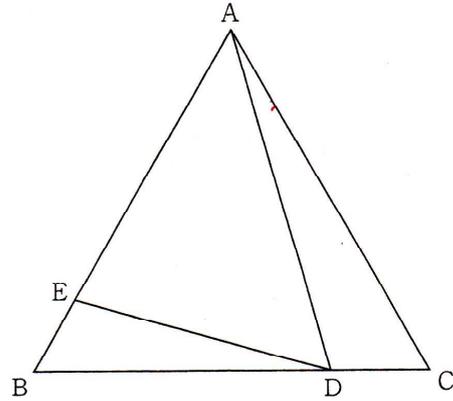
$$12 - 4x = 108$$

$$-4x = 96$$

$$x = -24$$

- 5** 下の図のように、1辺が20cmの正三角形ABCがある。
辺BC上に、 $BD=15\text{cm}$ となるように点Dを、辺AB上に、 $\angle ADE=60^\circ$ となるように点Eをとる。
次の(1)~(3)に答えなさい。

(1) $\triangle ACD$ の $\triangle DBE$ を証明しなさい。



(2) 辺BEの長さを求めなさい。

(3) 辺ADの長さを求めなさい。

(1) $\triangle ACD$ と $\triangle DBE$ において

正三角形より

$$\angle ACD = \angle DBE = 60^\circ \dots\dots ①$$

三角形の内角は 180° なので

$$\angle ADC + \angle CAD = 120^\circ \dots\dots ②$$

直線の作る角は 180° なので

$$\angle ADC + \angle BDE = 120^\circ \dots\dots ③$$

$$②③より \angle CAD = \angle BDE \dots\dots ④$$

①④より2組の角がそれぞれ等しいので

$$\triangle ACD \sim \triangle DBE$$

(2) 辺BEの長さは (1) より

$$AC : BD = CD : BE$$

$$20 : 15 = 5 : BE$$

$$4 : 3 = 5 : BE$$

$$BE = \frac{15}{4}$$

(3) $\triangle ADE \sim \triangle ABD$ である。

理由は 60° と $\angle DAE = \angle BAD$ 共通 による。

よって対応する線分の比

$$AB : AD = AD : AE \quad AD = x \text{ とすると}$$

$$20 : x = x : \frac{65}{4}$$

$$x^2 = 325$$

$$x = \sqrt{325} = 5\sqrt{13}$$